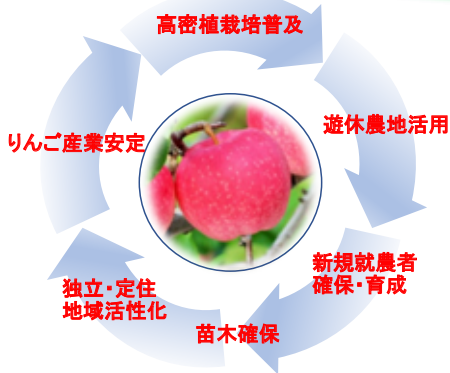
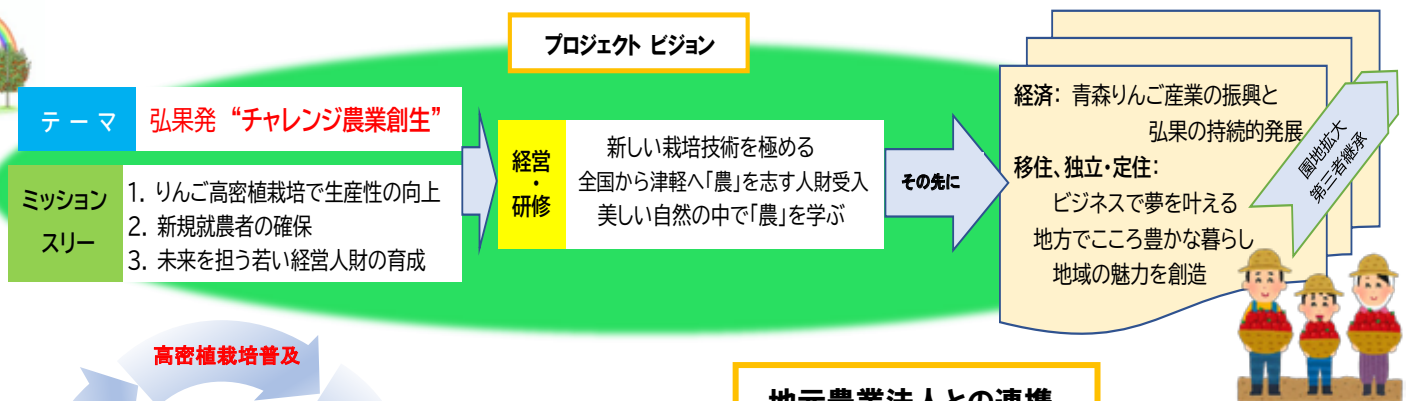


経営モデル園の計画概要

～未来へつなぐ青森りんご産地育成プロジェクト～



地元農業法人との連携

連携先：農事組合法人しみず

内容：まとまった農地提供・遊休農地活用、機械作業委託、研修生の生活サポート、地域コミュニティ活動

経営モデル園 基本スキーム

事業者：弘果総合研究開発㈱

期間：2023年(R5)～2030年(R12)

経営規模：約5ha 自社試験・研修用園地(ハウス4棟含む) 1ha
研修生独立用園地 0.5ha×8区画=4ha

作付け試験作物：りんご高密度植栽培(ふじ他 10品種)、台木生産試験、
シャインマスカット、シャイン系統大粒がどう、イチジク、プルーン、柿 他

成園時目標収穫量等

園地全体：りんご収穫量 275t/年

独立園地(1区画当たり)：りんご収穫量 27.5t/年、粗収益約 550万円/年、所得約 300万円/年

付帯事業：スマート農業研究、SDGs、園地案内、りんご高密度植栽培普及活動

補助等：果樹経営支援対策事業、経営資金 他

新規就農者 経営人財育成独立プログラム「(仮称)弘果アカデミー」

ねらい：稼げるグローバル人財を育成し、独立をサポート

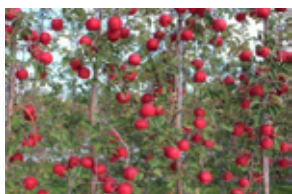
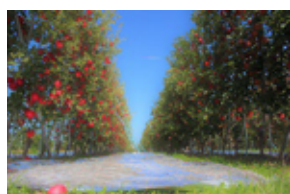
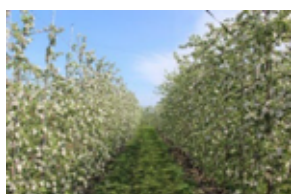
成長産業としての農業ビジネスを創出

新規就農者：R6年度から2人ずつ受入、4年間で計8人(研修2年⇒3年目以降独立へ支援)

プログラム例示(栽培実習、座学、関係機関研修)

- ・弘果グループ：高密度植栽培技術、有望作物栽培、スマート農業の現地研究、経営マネジメント、安全安心、市場流通ノウハウ
- ・地域の指導者：栽培技術実地(地元生産者)

補助等：新規就農者育成総合対策 他



園地案内

経営モデル園の立地環境

弘前市清水地区

自然環境が豊かな中山間地に位置する平坦な農地
 農地の物理性(水かけ等)も問題なし
 市街地へのアクセスも良好




地域の特性

自然：農村風景、こどもの森、だんぶり池
 歴史：久渡寺
 インフラ・物流：アップルロード沿い、
 弘果市場から車で約20分
 コミュニティ・文化：小沢ねがた、桜ヶ丘ねがた、
 コミュニティショップしみず
 資源：温泉



園地所在地：弘前市大字小沢字前沢



-  園内全体(5ha)
-  令和5年度定植区域(0.6ha)
-  ハウス棟(0.1ha)

🍏 りんご高密度栽培 🍏

R5.4定植 苗木 1,801本 台木生産 400本
 品種 ふじ、シナノゴールド、つがる、
 シナノスイート、王林、大紅栄 ほか

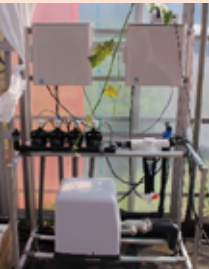


🍇 有望作物ハウス栽培 🍇

ハウス 4棟
 試験作物 シャインマスカット、シャイン系統大粒
 ぶどう、イチジク、プルーン、柿

スマート農業

▼自動灌水設備



▲自動気象観測装置

